

## 2020年度心理臨床センター活動報告

## 1. 開室状況

開室日数は249日（月平均20.8日）、勤務のべ人数は1406人（月平均117.2人）だった。

## 2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1 のとおりだった。

## 3. 相談件数

年間の相談受理件数は66件だった。年間のべ402件の相談（月平均33.5件）を受理した。各月における面接形態の内訳は Table 2 のとおりだった。2020年度は、COVID-19感染予防対策のために、新たに、対面相談に代わる形態として「オンライン相談」を導入した。それにより、昨年度を46件上回る相談実施数を確保することができた。なお、2020年度に実施した心理検査は Table 3 のとおりであった。

Table 1 電話対応の内訳

月	新規申込	継続予約	中止・変更	紹介	その他	合計
4月	1	0	7	0	9	17
5月	0	4	7	0	28	39
6月	1	0	6	0	20	27
7月	0	4	5	0	25	34
8月	3	7	3	0	27	40
9月	6	6	6	0	22	40
10月	4	6	5	0	30	45
11月	4	4	12	0	12	32
12月	4	3	10	1	24	42
1月	0	8	6	0	28	42
2月	1	2	5	0	21	29
3月	7	3	8	0	30	48
合計	31	47	80	1	276	435
月平均	2.6	3.9	6.7	0.1	23.0	36.3

Table 2 相談の内訳

月	初回面接	初回 オンライン	心理相談	心理相談 オンライン	並行面接	心理査定	その他	合計
4月	1	0	7	5	0	0	0	13
5月	0	0	0	9	0	0	0	9
6月	0	2	0	24	0	0	0	26
7月	0	0	0	29	0	0	0	29
8月	0	0	0	25	0	0	0	25
9月	0	2	7	27	0	0	0	36
10月	4	2	21	14	1	0	0	42
11月	0	1	22	9	0	0	0	32
12月	5	0	23	11	0	1	0	40
1月	0	2	14	19	0	45	0	80
2月	0	0	11	18	0	1	0	30
3月	4	0	20	14	1	1	0	40
合計	14	9	125	204	2	48	0	402
月平均	1.2	0.8	10.4	17.0	0.2	4.0	0.0	33.5

Table 3 2020年度に実施した心理検査

検査名		実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	27
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	5
AQ:	Autism-Spectrum Quotient	1
ARI 児童用:	Affective Reactivity Index 児童用	1
BADS-SF:	Bahavioral Activation for Depression Scale-short form	1
バウムテスト		1
BDI-II:	The Beck Depression Inventory-II	46
CBCL:	Child Behavior Checklist	2
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	4
CDI:	Children's Depression Inventory	4
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	27
CONNERS 3 日本語版		1
DAM:	グッドイナフ人物画知能検査	1
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	5
DSRS-P:	Depression Self-Rating Scale for Parent	1
FASA:	Family Accommodation Scale-Anxiety	1
FASA-CR:	Family Accommodation Scale for Anxiety-Child report	1
GAD-7:	Generalized Anxiety Disorder 7-item scale	21
GHQ30:	The General Health Questionnaire	1
HCL33:	Hypomania Check List-33	1
ICG:	Inventory of Complicated Grief	1
育児感情尺度		2
ISI:	Insomnia Severity Index	6
J-ZBI 8:	Zarit 介護負担尺度日本語版の短縮版	1
孤独感尺度:	日本語版 UCLA 孤独感尺度 (第3版)	1
子ども用怒り感情尺度		1
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	8
MDQ:	Menstrual Distress Questionnaire	1
MEDSCI:	Manic Episode Diagnostic Screening Inventory	24
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	8
親の養育態度尺度		2
PAS:	Panic and Agoraphobia Scale	1
P-F スタディ		2
PHQ-9:	Patient Health Questionnaire	22
QOL26:	WHO Quality of Life26	30
Rorschach Test		45
SADS:	Social Anxiety Disorder Scale	3
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	6
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	5
SF-36v2:	MOS 36-Item Short-Form Health Survey	1
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	17
S-M 社会生活能力検査 (第3版)		3
SMQ-R:	Selective Mutism Questionnaire-Revised	1
VQ:	Valuing Questionnaire	24
WISC-IV:	Wechsler Intelligence Scale for Children-IV	1
YSR:	Youth Self-Report	1
Y-BOCS:	The Yale-Brown Obsessive Compulsive Scale	15
全検査合計		384

#### 4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。

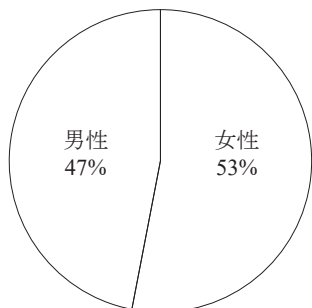


Figure 1 相談者の男女比

#### 5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	49
うつ・不安	7
家族関係	3
介護	1
勤務問題	1
その他	5
合計	66

#### 6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯 (件数)

学校より紹介	47
ホームページ	9
知人より紹介	5
病院より紹介	3
新聞広告	0
パンフレット	0
その他	4
合計	68

(複数回答)

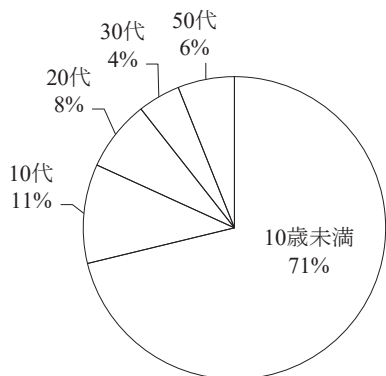


Figure 2 相談者の年齢層

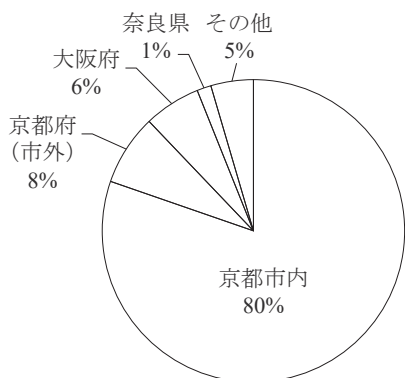


Figure 3 相談者の居住地域

## 7. 特別プログラム実施状況

2020年度には2つの特別プログラムが実施され (Table 6), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2020年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 <sup>注1)</sup>
子どもの不安改善プログラム: いっちゃんが教室	8
認知症の介護ストレスケアプログラム: しなやかケア教室	1
合計	9

注1) 面接数は初回, 継続, 査定の合計を指す

## 8. 実習実績

博士課程前期課程11名の相談研修員が在籍し, 本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は176.3時間となり, 前年度に比べ50時間以上減少した。一人あたりの平均実習時間は16.0時間だった (スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 7のとおりだった。2020年度は COVID-19感染拡大の影響で大学に入構制限が発出され, それに伴い対面による心理相談が減少した。そのため学生の実習時間が減少したと考えられる。今後は感染予防対策を継続しながら, 実習時間の確保に努めていきたい。

Table 7 実習形態の内訳

面接担当 <sup>注1)</sup>	28.0
面接陪席 <sup>注2)</sup>	122.0
プレイ	4.0
検査	4.0
受付	12.3
その他	6.0
合計	176.3

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

## 9. 広報活動

2020年度は広報活動は行わなかった。

## 10. 心理臨床センター委員会

### 第1回

日時 2021年3月2日 (木)  
場所 メール会議 (報告事項関連資料をメールで送信)  
出席者 内山 伊知郎 (センター長), 杉若 弘子 (副センター長), 下楠 昌哉 (学生支援機構長), 新関 三希代 (教育支援機構長), 柳澤 政宏 (総務部長), 友淵 雅行 (心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

## 11. 心理臨床センター運営委員会

### 第1回

日時 2020年4月15日 (水)  
13:00-14:55  
場所 尋真館 心理臨床センター研修室  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里

### 第2回

日時 2020年5月20日 (水)  
13:00-15:01  
場所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友淵 雅行 (事務長)

### 第3回

日時 2020年6月3日 (水)  
13:00-14:18  
場所 尋真館 心理臨床センター研修室

2020年度心理臨床センター活動報告

- 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪,  
嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター  
長), 梅澤 友香里, 横山 有果里,  
友瀧 雅行 (事務長)
- 第4回  
日 時 2020年6月17日 (水)  
13:00-13:47  
場 所 尋真館 心理臨床センター研修室  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪,  
嶋 大樹, 梅澤 友香里, 横山 有果  
里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第5回  
日 時 2020年7月1日 (水)  
13:00-14:11  
場 所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹,  
杉若 弘子 (副センター長), 梅澤  
友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行  
(事務長)
- 第6回  
日 時 2020年7月15日 (水)  
13:00-14:55  
場 所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪,  
嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター  
長), 梅澤 友香里, 横山 有果里,  
友瀧 雅行 (事務長)
- 第7回  
日 時 2020年10月7日 (水)  
13:00-13:58  
場 所 尋真館 心理臨床センター研修室  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏  
樹, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副セン  
ター長), 梅澤 友香里, 横山 有果  
里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第8回  
日 時 2020年10月21日 (水)  
13:00-13:33  
場 所 尋真館 心理臨床センター研修室  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏  
樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子  
(副センター長), 梅澤 友香里,  
横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第9回  
日 時 2020年11月11日 (水)  
13:00-14:18  
場 所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏  
樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子  
(副センター長), 梅澤 友香里,  
横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第10回  
日 時 2020年12月9日 (水)  
13:00-13:41  
場 所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏  
樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子  
(副センター長), 梅澤 友香里,  
横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第11回  
日 時 2021年1月6日 (水)  
13:00-14:07  
場 所 オンライン会議  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,  
興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏  
樹, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副セン  
ター長), 梅澤 友香里, 横山 有果  
里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第12回  
日 時 2021年3月10日 (水)  
13:00-15:01  
場 所 尋真館 心理臨床センター研修室  
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,

興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友渕 雅行 (事務長)

博・沼 初枝・藤田 主一 P-F スタディ解説 (2020年版) 三京房

早樫 一男 「あいまいな喪失」の理解を! —— 社会的養護と「あいまいな喪失」—— 特集 児童相談所よがんばれ その進化論 精神療法, 46(5), 609-614.

## 12. 研究活動

### 刊行物 (著書・論文等)

阿部 望・岸田 広平・石川 信一 強み介入が中学生の精神的健康に及ぼす効果に関する検討 教育心理学研究, 69, 64-78.

Creswell, C., Nauta, H. M., Hudson, L. J., March, S., Reardon, T., Arendt, K., Bodden, D., Cobham, E. V., Donovan, C., Halldorsson, B., In-Albon, T., Ishikawa, S., Johnsen, B. D., Jolstedt, M., Jong, d. R., Kreuze, L., Mobach, L., Rapee, M. R., Spence, H. S., Thastum, M., Utens, E., Vigerland, S., Wergeland, J. G., Essau, A. C., Albano, M. A., Chu, B., Khanna, M., Silverman, K. W., Kendall, C. P. Research Review: Recommendations for reporting on treatment trials for child and adolescent anxiety disorders - an international consensus statement. *The Journal of Child Psychology and Psychiatry*, 62(3), 255-269. doi.org/10.1111/jcpp.13283

Harris, R. *ACT questions & answers: a practitioner's guide to 150 common sticking points in acceptance and commitment therapy*. Oakland: New Harbinger Publications. (ハリス, R. 武藤 崇 (監修) 大屋 藍子・茂本 由紀・嶋 大樹 (監訳). 教えて! ラス・ハリス先生 ACT がわかる Q&A——セラピストのためのつまずきポイントガイド—— 星和書店)

秦 一士・安井 知己 (編著) 青木 佐奈枝・木村 一朗・笹川 宏樹・鈴木 常元・西尾

肥田 乃梨子・石川 信一・村澤 孝子・小國 真由子 中学生のメンタルヘルス問題に対する診断横断的予防プログラムの有効性の検討 心理臨床科学, 10, 3-13.

Inoue, K., Shima, T., Takahashi, M., Lee, S. K., Ohtsuki, T., Kumano, H. Reliability and Validity of the Implicit Relational Assessment Procedure (IRAP) as a Measure of Change Agenda. *The Psychological Record*, 70(3), 499-513.

石川 信一 小学校での抑うつ症状の予防プログラム 大野 裕・堀越 勝 (監修) 田島 美幸 (編). 集団認知行動療法の進め方 (pp.156-161) 培風館

石川 信一・小野 昌彦 教育分野への認知行動療法の適用と課題 認知行動療法研究, 46, 99-110.

Ito, K., Kadotani, H., Okajima, I., Ubara, A., Ichikawa M., Omichi, C., Miyamoto, T., Matsuda, A., Sumi, Y., & Kitagawa, H. Large questionnaire survey on sleep duration and insomnia using TV hybridcast system by Japan Broadcasting Corporation (NHK). *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 18, 2691, March 7, 2021.

岸田 広平・石川 信一 児童青年に対する診断横断的介入のフォローアップの有効性の予備的検討 心理学研究, 91, 63-68.

Krause, K. R., Chung, S., Adewuya, A. O., Albano, A. M., Babins-Wagner, R., Birkinshaw, L., Brann, P., Creswell, C., Delaney, K., Falissard, B., Forrest, C. B.,

- Hudson, J. L., Ishikawa, S., Khatwani, M., Kieling, C., Krause, J., Malik, K., Martínez, V., Mughal, F., Ollendick, T. H., Ong, S. H., Patton, G. C., Ravens-Sieberer, U., Szatmari, P., Thomas, E., Walters, L., Young, B., Zhao, Y., & Wolpert, M. International consensus on a standard set of outcome measures for child and youth anxiety, depression, obsessive-compulsive disorder, and post-traumatic stress disorder. *The Lancet Psychiatry*, 8(1), 76-86.  
doi.org/10.1016/S2215-0366(20)30356-4
- 牧野 未菜・武藤 崇 グリーンピースが嫌いな大学生におけるメタファー生成が脱フュージョンに及ぼす効果 *心理臨床科学*, 10, 15-25.
- 松岡 里紗・武藤 崇 成人期の吃音に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピーによる心理・社会的介入の可能性 *心理臨床科学*, 10, 27-37.
- 宮城 崇史・毛利 真弓・引土 絵未・田辺 等 アディクション／司法領域における治療共同体 集団精神療法, 36 (362), 247-251.
- 毛利 真弓 グループ・アプローチ：犯罪行動変化を目指す基本的スキル 藤岡 淳子(編) 司法・犯罪心理学 第14章 (pp.219-233) 有斐閣
- 毛利 真弓 対話による問題解決 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編) 最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座10 刑事司法と福祉 第15章3節 (pp.264-268) 中央法規
- 村山 恭朗・大屋 藍子 成人女性を対象とした摂食障害患者と健常者における感情調整方略の比較検討 *ストレス科学研究 Advance online publication.*  
doi.org/10.5058/stresskagakukenyu.2020002
- 中西 陽・石川 信一 小中学生の自閉症的特性が抑うつ症状に及ぼす影響——ソーシャルスキルと友人関係の媒介効果の検討—— *認知行動療法研究*, 47, 11-21.
- 岡島 義・田中 佑樹・乳原 彩香・井端 累衣・尾棹 万純 国内外における自記式不眠関連尺度の現状：信頼性と妥当性の評価 *東京家政大学附属臨床相談センター紀要 東京家政大学附属臨床相談センター*, 21, 39-51.
- Okajima, I., Miyamoto, T., Ubara, A., Omichi, C., Matsuda, A., Sumi, Y., Matsuo, M., & Kadotani, H. Evaluation of severity levels of the Athens Insomnia Scale based on the criterion of Insomnia Severity Index. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 17, 8789, November 26, 2020.
- 大屋 藍子 心理専門職教育における非対面カンファレンスの実際と課題 *心理臨床科学*, 10, 83-85.
- 笹川 宏樹 第5章 障害児・者の福祉を見渡す——多職種連携の一翼をになうために——  
川畑 隆・笹川 宏樹・宮井 研治 (編著) 福祉心理学——福祉分野での心理職の役割—— (pp.87-99) ミネルヴァ書房
- 笹川 宏樹 障害のある親子への在宅支援から施設入所支援 *こころの科学*, 214, 64-68.
- 嶋 大樹 関係フレーム理論からみたメタファー *心理臨床科学*, 10, 39-52.
- 嶋 大樹 低強度のマインドフルネスが否定的な反復性思考に及ぼす影響：予備的検討 *マインドフルネス研究*, 6(1), 早期公開
- 嶋 大樹 心の不調とは何か——臨床心理学の視点(第13章) 羽野ゆつ子・竹原卓真 (編) あなたとわたしの心理学：教養として心理学と出会う愉しみ (pp.166-177) ナカニシヤ出版
- 嶋 大樹 心の不調を支援する——科学者－実践家として(第14章) 羽野ゆつ子・竹原卓真 (編) あなたとわたしの心理学：教養と



- して心理学と出会う愉しみ (pp.178-190)  
ナカニシヤ出版
- Shima, T., Inoue, K., Muto, T., & Kumano, H. Measuring momentary experiential avoidance in daily life: A preliminary investigation for a new contingency-based measurement framework. *Journal of Evidence-Based Psychotherapies*, 21(1), 113-132.
- 杉若 弘子 心理臨床センターにおける新型コロナウイルス (COVID-19) 感染予防対策  
心理臨床科学, 10, 53-58.
- 杉若 弘子 用語解説 (パーソナリティ障害群, 他17項目) 子安 増生・丹野 義彦・箱田 裕司 (監修) 有斐閣現代心理学辞典 有斐閣
- 鈴木田 英里・興津 真理子・山根 隆宏 家族造形法による親からのサポートの程度の表現と家族理解の変化 神戸大学発達・臨床心理学研究, 19, 1-8.
- 高橋 史・岸田 広平・栗林 千聡・武部 匡也・松原 耕平 エビデンスに基づく心理療法とその基盤制度——日本における医療・教育・福祉・司法・産業の臨床五領域について—— 信州大学教育学部研究論集, 14, 331-348.
- 乳原 彩香・石川 信一 不眠症状の改善をもたらす認知行動的要因とその媒介効果に関する展望 認知行動療法研究, 46, 1-14.
- 乳原 彩香・岡島 義・町田 奈穂・角谷 寛・石川 信一 Sleep-related Behaviors Questionnaire の日本語短縮版尺度の作成およびその信頼性と妥当性の検討 行動医学研究 日本行動医学会, 25(2), 216-226. doi.org/10.5058/stresskagakukenyu.2020002
- Ubara, A., Sumi, Y., Ito, K., Matsuda, A., Matsuo, M., Miyamoto, T., & Kadotani, H. Self-isolation due to COVID-19 is linked to small one-year changes in depression, sleepiness, and insomnia: Results from a clinic for sleep disorders in Shiga prefecture, Japan. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 17, 8971.
- 梅澤 友香里 同志社大学心理臨床センターにおける新型コロナウイルス感染症対策と対面による心理相談再開に向けた取り組み  
心理臨床科学, 10, 71-82.
- 横山 有果里・梅澤 友香里 同志社大学心理臨床センターにおけるオンライン相談の導入  
心理臨床科学, 10, 59-70.
- 吉岡 拓真・伊藤 雅隆・大屋 藍子 大学生の掻破行動に対する習慣逆転法の効果の検討  
対人援助学研究, 11, 60-70.

#### 学会活動

- 秦 一士・安井 知己・笹川 宏樹・青木 佐奈枝・木村 一郎・鈴木 常元・沼 初枝・藤田 主一 P-F スタディ成人用再標準化に関する研究 (1) ——図版の改定を中心に—— (日本心理臨床学会 第39回大会 Web 開催, 11月20日-26日)
- 肥田 乃梨子 「学校現場での介入研究における困難と今後の展開」 (日本心理学会第84回大会, WEB 開催, 日本心理学会公募シンポジウム27「学校での心理学的支援のこれまでとこれから——アフターコロナで求められる心理学的支援の在り方——」, 9月)
- Ishikawa S. A culturally-adapted cognitive behavior therapy for children with anxiety disorders: The West might find the East heading toward a CBT new era. (13th International Congress of Clinical Psychology, Virtual Platform, July, 招待講演)
- Ishikawa S. Cognitive behavioral preventive approach in school: The Universal Unified Prevention Program for Diverse Disorders for School-aged children. (11th International CBT



- Conference, Pakistan Association of Cognitive Therapies, Virtual Platform, March, 招待講演)
- 石川 信一 英語論文投稿への道2020 (日本心理学会第84回大会, WEB 開催, 日本心理学会企画シンポジウム, 9月)
- 石川 信一 子どもの不安に対する認知行動療法 (日本認知・行動療法学会第46回大会, WEB 開催, ワークショップ, 9月)
- 石川 信一 子どもの認知行動療法——20年の歩み—— (日本認知療法・認知行動療法学会第20回大会, WEB 開催, ワークショップ, 11月)
- 伊藤 雅隆 逐語データを用いたアクセプタンス&コミットメント・セラピーにおける面接要素の検討 (日本心理学会 第84回大会, 9月8日)
- Ito, M., Hashimoto, K., & Muto, T. A systematic review and meta-analysis of brief (Acceptance and Commitment Therapy ACBS world conference 18 online, ポスター発表, 7月16-19日)
- 井森 萌子・常川 祐史・片岡 沙耶・伊藤 雅隆・大屋 藍子 大学生の先延ばしに対するアクセプタンス&コミットメント・セラピーの効果の検討 (ACT Japan 2020年度年次ミーティング, ポスター発表, 3月)
- 角谷 寛・伊藤 一樹・上津 昌広・乳原 彩香・大道 智恵・松田 有史・宮本 都和・角 幸頼・松尾 雅博 疫学研究におけるパルスオキシメーターの睡眠時無呼吸スクリーニングとしての診断精度 (第31回日本疫学会学術総会 オンライン開催, 1月)
- Kishida, K., Takebe, M., Kuribayashi, C., Tanabe, Y., & Ishikawa, S. The cognitive process influencing anger in children and adolescents. (The 54th Association for Behavioral and Cognitive Therapies, Virtual Convention, November)
- 毛利 真弓・坂東 希・藤岡 淳子 大阪府による性犯罪者への入口支援 (1) (日本犯罪心理学会第58回大会, Web 大会, 口頭発表, 11月)
- 笹川 宏樹・秦 一士・安井 知己・青木 佐奈枝・木村 一朗・鈴木 常元・沼 初枝・藤田 主一 P-F スタディ成人用再標準化に関する研究 (2) ——スコアリング例の作成と評定者間一致度の検討—— (日本心理臨床学会 第39回大会 Web 開催, 11月20日-26日)
- Shima, T. Profiles of Psychological Flexibility: A Conceptual Replication of Tyndall et al. (2018). (ACBS World Conference 17, ポスター発表, 7月16日-19日)
- 嶋 大樹 マインドフルネスが日常生活下の反すうの生起回数に及ぼす影響 (日本認知・行動療法学会第45回大会, ポスター発表, 9月11日-13日)
- 嶋 大樹 ACT コアプロセス尺度開発の試み (ACT Japan 2020年度 年次ミーティング, ポスター発表, 3月13日-14日)
- 嶋 大樹 MO に代わる概念は可能か: Whelan & Barnes-Holmes (2010) を中心に (日本行動分析学会第38回大会, シンポジウム, 8月30日)
- 杉若 弘子 「留学生ネットワーク」のメンバーたちが語る日本での研究生活とその発展企画 (日本心理学会第84回大会学会企画シンポジウム, Web 開催, 9月8日-11月2日)
- 角 幸頼・角谷 寛・乳原 彩香・伊藤 一樹・松田 有史・松尾 雅博 新型コロナによる外出自粛下における睡眠とメンタルヘルス (第27回日本時間生物学会学術大会, オンライン開催, 9月)
- 鈴木田 英里・興津 真理子・山根 隆宏 家族造形法における親からのサポートの程度の表現と家族理解の変化に関する検討 (日本発達心理学会第31回大会, 3月2日)
- Ubara, A., Okajima, I., Machida, N., Kadotani, H., & Ishikawa, S.

Development of a short form of the Sleep-related Behaviors Questionnaire, and a test of its reliability and validity. (25th Congress of the European Sleep Research Society, Virtual congress, September)

乳原 彩香・岡島 義・町田 奈穂・角谷 寛・石川 信一 短縮版 Sleep-related Behaviors Questionnaire の開発および信頼性と妥当性の検討 (第46回日本認知・行動療法学会, オンライン開催, 9月)

乳原 彩香・谷沢 典子・原田 萌・角谷 寛・岡島 義 大学生の睡眠問題に対するセルフヘルプ型認知行動療法が精神的健康に及ぼす影響 (第36回不眠研究会, オンライン開催, 12月)

乳原 彩香・伊藤 一樹・松田 有史・角 幸頼・松尾 雅博・宮本 都和・角谷 寛 COVID-19による外出制限が睡眠外来通院患者のメンタルヘルスの変化に及ぼす影響 (NPBPPP2020合同年会, オンライン開催, 8月)

安井 知己・秦 一士・笹川 宏樹・青木 佐奈枝・木村 一朗・鈴木 常元・沼 初枝・藤田 主一 P-F スタディ成人用再標準化に関する研究 (3) ——GCR の設定とスコアリング要素の世代別・性別の検討—— (日本心理臨床学会 第39回大会 Web 開催, 11月20日-26日)

### 研究会活動

井上 和哉・伊藤 雅隆・嶋 大樹・津田 菜摘・高橋まどか 第3回 はじめての ACT 研究会 (研究会 企画・運営, 11月29日)

毛利 真弓 加害者の回復における治療的環境の重要性と課題 (R-GIRO (立命館大学グローバル・イノベーション研究機構)「修復的司法観による少子高齢化社会に寄り添う法・社会システムの再構築」研究会, オンライン, 5月25日)

毛利 真弓 日本における刑務所内 TC 導入と

処遇効果 (治療共同体ネットワーク, オンライン, 9月12日)

大屋 藍子 高度肥満者との心理面接 (プライバシー保護のためタイトル改変) 第2回神戸心理臨床研究会, 神戸市勤労会館, 事例提供, 7月17日)

大屋 藍子 中高年の抑うつに対する心理面接 (プライバシー保護のためタイトル改変) (第9回神戸心理臨床研究会, 神戸勤労会館, 事例提供, 3月19日)

嶋 大樹 アクセプトランス&コミットメント・セラピー超初級ワークショップ (第3回はじめての ACT 研究会, 話題提供, 11月29日)

## 13. 社会貢献

### 講演・公開講座

早樫 一男 「ジェノグラムから家族関係を考える」 令和2年度大阪府福祉専門職研修 (対人援助基礎研修) 講師 (大阪府咲洲庁舎, 7月14日, 8月11日)

早樫 一男 「ジェノグラムを通して, 家族の歴史と物語に耳を傾ける, 寄り添う」 京都グリーフケア協会 看護師・助産師コース 上級 講師 (10月16日)

早樫 一男 「対人援助職のためのジェノグラム入門」 令和2年度神戸市介護支援専門員地域同行型研修 講師 (神戸市立総合福祉センター, 11月21日)

早樫 一男 「ジェノグラムを活用した家族理解と支援」 奈良県中央こども家庭相談センター 令和2年度特別研修講師 (奈良県産業会館, 2月4日)

早樫 一男 「令和2年度 児童福祉司任用後研修」 講師 奈良県文化・教育・くらし創造部 (奈良県中央こども家庭相談センター, 2月12日)

肥田 乃梨子 「子どものためのメンタルヘルス予防プログラム～実践編～」 (京都市立西京高等学校附属中学校校内研修会, オンラ

- イン研修会, 4月)
- 肥田 乃梨子 「子どものためのメンタルヘルス  
予防プログラム～実践編～」(京都産業大  
学附属中学校校内研修会, オンライン研修  
会, 6月)
- 肥田 乃梨子 「子どものためのメンタルヘルス  
予防プログラム～実践編～」(久御山町立  
御牧小学校校内研修会, 久御山町立御牧小  
学校, 7月)
- 肥田 乃梨子 「子どものためのメンタルヘルス  
予防プログラム～実践編～」(福知山市立  
成和中学校校内研修会, 福知山市立成和中  
学校, 8月)
- 肥田 乃梨子 「子どものためのメンタルヘルス  
予防プログラム～実践編～」(京都市立塔  
南高等学校校内研修会, 京都市立塔南高等  
学校, 10月)
- 肥田 乃梨子 「教師によるメンタルヘルス予防  
プログラム」(奈良教育大学講義「子ども  
の発達と心のケア」ゲストスピーカー, オ  
ンライン講義, 2月)
- 石川 信一 「子どもの不安症に対する支援: エ  
ビデンスに基づく心理療法」(令和2年度養  
護教諭夏季研修会, オンライン研修会, 8月)
- 石川 信一 「新型コロナウイルスを心配してい  
る子どもや若者の支援ガイド——海外の“子  
どもの不安・心配のガイド”から——」(令  
和2年度香川県子どもの心の診療ネットワ  
ーク事業研修会, オンライン研修会, 12月)
- 石川 信一 「科学としての臨床心理学——こ  
ろあつぶタイムはこうして生まれた——」  
(京都市立塔南高等学校出前講義, 京都市  
立塔南高等学校会議室, 2月)
- 石川 信一 「子どもの不安に対する認知行動療  
法」(千葉大学の主催するメンタルサポ  
ート医療人とプロの連携要請公開フォーラム,  
オンライン研修会, 2月)
- 石川 信一 「子どものメンタルヘルス予防プロ  
グラム——塔南高等学校 報告会——」(京  
都市立塔南高等学校出前講義, 京都市立塔  
南高等学校会議室, 3月)
- 石川 信一 「認知行動療法の基本を改めて学ぶ」  
(京都府精神保健福祉総合センター認知  
行動療法セミナー, 京都府精神保健福祉総  
合センター会議室, 3月)
- 石川 信一 「子どものためのメンタルヘルス予  
防プログラム」(子どものためのメンタル  
ヘルス予防教育プログラムタスクフォース  
養成研修会, オンライン研修会, 3月)
- 石川 信一・肥田 乃梨子 「子どものためのメ  
ンタルヘルス予防プログラム～実践編～」  
(メンタルヘルス予防教育(リジリエンシー  
プログラム) 事前研修会, 守山市民ホール  
小ホール, 1月)
- 石川 信一・肥田 乃梨子 「子どものためのメ  
ンタルヘルス予防プログラム」(子ども  
のためのメンタルヘルス予防教育プログラ  
ムタスクフォース養成研修会, オンライン研  
修会, 3月)
- 石川 信一・肥田 乃梨子 「子どものためのメ  
ンタルヘルス予防プログラム」(子ども  
のためのメンタルヘルス予防教育プログラ  
ムタスクフォース研修会, ふくちやま市民交  
流プラザ会議室, 8月)
- 菊田 和代 「新型コロナ騒動から組織のリスク  
マネジメントを学ぶ」(大阪府臨床心理士  
会主催2020年度オンライン合同研修会, 大  
阪経済大学, 11月29日)
- 毛利 真弓 性問題行動の理解と支援について  
——施設内処遇でできること——(京都府  
家庭総合センター家庭問題等困難事例サ  
ポート事業講演, 京都府立淇陽学校, 7月  
21日)
- 毛利 真弓 性問題行動を持つ児童・少年への  
対応について(愛媛県地域支援者向け立ち  
直り支援研修会, 愛媛県庁, 9月17日)
- 毛利 真弓 対話して考える「場」を作る(ス  
クールソーシャルワーカー協会秋季研修会,  
オンライン, 10月25日)
- 毛利 真弓 日本の対話型矯正教育について  
——芸術と矯正の融合の可能性の視点から  
——(東京芸術劇場主催ドイツアウトプルー

- フによる刑務所演劇の挑戦, 東京芸術劇場 (配信), 12月21日)
- 毛利 真弓 絆を結ぶ更生支援のための専門研修——つながりからかさなりへ—— (島根更生支縁ネット研修会, 島根県民会館, 12月25日・26日)
- 毛利 真弓 性暴力を行う児童のリスクアセスメント (大阪府・大阪市共同事業 在宅性グループ専門研修, 大阪府中央子ども家庭センター, 1月28日)
- 毛利 真弓 刑務所内治療共同体 (治療共同体 オンラインシンポジウム, オンライン, 2月14日)
- 毛利 真弓 性問題行動のある少年へのかかわりについて (京都地域援助推進協議会, 京都少年鑑別所, 2月19日)
- 村澤 孝子・伊藤 史織・石川 信一 「子どものためのリジリエンシープログラムの実装～「しなやかな強さ」と「答えの出ない状況に耐える力」を育てる～」(未来の先生フォーラム, オンライン研修会, 11月)
- 興津 真理子 William Alanson White Instituteにおけるカップルセラピートレーニングの実際/カップルケース・スーパーヴィジョン (一般社団法人京都精神分析心理療法研究所, 1月24日)
- 大屋 藍子 生活習慣改善へのモチベーションを維持する心理支援 (ノボ ノルディスクファーマ株式会社/コヴィディエンジャパン株式会社主催「肥満の内科と外科の連携——地域連携も含めて——」, 12月2日)
- 笹川 宏樹 「子ども虐待対応2——精神疾患を抱えた保護者の理解と対応——」(2020年度児童相談所児童福祉司スーパーバイザー義務研修〈前期〉, 子どもの虹情報研修センター, 7月29日)
- 笹川 宏樹 「講義スーパービジョンの基本」 「演習スーパービジョンの基本 I」(2020年度児童相談所児童福祉司スーパーバイザー義務研修, 新A・B日程, 西日本子ども研修センターあかし, 7月31日, 8月26日)

- 笹川 宏樹 「心理学的理論と心理学的支援」 「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」(奈良県社会福祉士会令和2年度国家試験対策集中講座, 奈良県社会福祉総合センター, 1月14日)
- 笹川 宏樹 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」(令和2年度子ども家庭福祉人材専門性強化事業「児童福祉司任用後研修」, 奈良県中央子ども家庭相談センター, 2月9日)

### その他

- 毛利 真弓 京都府家庭総合センター家庭問題等困難事案サポート事業困難事例検討会議における助言指導 (京都府立洪陽学校, 7月8日, 7月21日)
- 毛利 真弓 愛媛県性暴力加害少年立ち直り支援事業アドバイザー及びハンドブック監修 (愛媛県庁, 愛媛県立愛媛学園, 愛媛県福祉総合家庭センター, 11月5日, 12月3日, 12月26日)
- 毛利 真弓 山口刑務所性犯罪再犯防止指導スーパーバイザー (山口刑務所, 毎月1回の助言指導)
- 毛利 真弓 広島県立広島学園性問題行動プログラムスーパーバイザー (広島県立広島学園, 毎月1回の助言指導)
- 興津 真理子 The Couples Therapy Training and Education Program 修了 (William Alanson White Institute of Psychiatry, Psychoanalysis and Psychology, 2019年9月-2020年9月)
- 大屋 藍子 国立循環器病研究センター健康管理システム会議における助言・指導 (国立循環器病研究センター予防健診部 3月1日)
- 角 幸頼・角谷 寛・乳原 彩香・伊藤 一樹・松田 有史・松尾 雅博 2020年日本時間生物学会学術大会 優秀ポスター賞受賞 新型コロナウイルスによる外出自粛下における睡眠とメンタルヘルス

## 14. 2020年度構成員

### センター長

内山伊知郎 (心理学部 教授)

### 副センター長

杉若 弘子 (心理学部 教授)

### 指導相談員

佐藤 豪 (心理学部 教授)

笹川 宏樹 (心理学部 客員教授)

武藤 崇 (心理学部 教授)

興津真理子 (心理学部 教授)

石川 信一 (心理学部 教授)

毛利 真弓 (心理学部 准教授)

大屋 藍子 (心理学部 助教)

嶋 大樹 (心理学部 助教)

### 特任指導員

早樫 一男 (心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会的トリートメント  
研究センター 嘱託研究員)

伊藤 雅隆 (心理学部 助手)

岸田 広平 (心理学部 助教)

### 相談員

梅澤友香里 (心理臨床センター)

横山有果里 (心理臨床センター)

### 相談研修員

上西 祐輝

(心理学研究科博士課程後期課程)

阿部 望

(心理学研究科博士課程後期課程)

津田 菜摘

(心理学研究科博士課程後期課程)

乳原 彩香

(心理学研究科博士課程後期課程)

橋口 知輝

(心理学研究科博士課程後期課程)

松岡 里紗

(心理学研究科博士課程前期課程)

竹村 忠寛

(心理学研究科博士課程前期課程)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程)

伊井 彩郁

(心理学研究科博士課程前期課程)

奥山 朝子

(心理学研究科博士課程前期課程)

徳田 文美

(心理学研究科博士課程前期課程)

吉川 翔

(心理学研究科博士課程前期課程)

井森 萌子

(心理学研究科博士課程前期課程)

牧野 未菜

(心理学研究科博士課程前期課程)

高村 朋加

(心理学研究科博士課程前期課程)

津田 征海

(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 陽

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

町田 奈穂

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

米澤 里奈

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

松木 美佳

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

横井 沙郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)